

ユーラ・エナ マイクロワン ご使用に際して（重要事項）

本マニュアルは大切に保管してください。

また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 設置の前に

設置する前に本マニュアルを一通りお読みください。

2. 設置場所

本機の電源は 100V / 1250W です。正常に動作しない場合がありますので、電子レンジ、炊飯器、電気ポット、ロースターなど電気容量の大きな製品との併用は避けください。水のかかる場所や湿気、ほこりの多い場所も避けください。電子レンジやガスレンジなど熱の発生する製品からは遠ざけてください。水平で平らな場所に設置ください。

3. メンテナンス

洗浄のサインが出ましたら必ずマニュアルに従って洗浄プログラムを実行してください。

フィルター交換のサインが出ましたら、必ず専用カートリッジ（別売）と交換してください。

食洗機のご使用は避け下さい。部品の脱落や変形、不具合の原因となります。ドリフトトレイ、水タンクをはじめ、いかなる部分もお手入れの際は必ず手で洗うようにしてください。

4. 保証書

故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。

保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合

故障の場合は 03-3783-8899 株式会社コントラストまでお問い合わせください。



ユーラ・エナ マイクロワン

Jura ENA Micro1 取扱いマニュアル



p.01 : ご使用に際して

p.02 : 安全にお使いになるために

p.03 : 製品保証書

p.04 : 各部名称

p.05 : マシンのセットアップ
フィルターを使用する

p.06 : フィルターを使用しない
フィルター設定を後から変更する

p.07 : 基本操作・コーヒーの抽出

p.08 : 応用操作・設定変更

p.09 : フィルターの交換

p.10 : マシン洗浄（クリーニング）

p.11 : カルシウム除去

p.12 : こんなときは（マークの意味と対処法）

p.13 : トラブルシューティング

安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為

⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて

コンセントは100V（ボルト）で機械一台あたり15A（アンペア）以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ/コードについて

●機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。

●機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。

●機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一 衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について

●発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて

●延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。

電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コードや、接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アースについて

●接続（アース）していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。**アースは機械に付属品としてついています。接地つきコンセントの場合はアダプタを使用せず直接差し込みます。接地なしのコンセントの場合はアダプタ付属のアース線からアースをとってください。**

●アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。アース線は次の場所に接続しないでください。①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口
アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください

⚠ 設置環境について

●水のかかる場所や湿気の多い場所での使用は漏電や感電の原因となりますのでお止め下さい
●外装はプラスチックですので高温になる場所への設置はお止め下さい。
●ホコリの多い場所への設置は火災の原因となりますのでお止め下さい。

●不安定な場所や水平でない場所への設置は落下などの危険が伴いますのでお止め下さい。
●小さいお子様の操作は大変危険ですので、お子様の手の届かない場所へ設置して下さい。

日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止

●コーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 警告：トラブルがあったときの処置

●機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると**火傷や感電により死に至る**恐れがあります。

●機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。

●機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

●ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止

●火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止

●機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止

●機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

⚠ 注意：機械故障の防止

●機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。

●コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め

●定期的に下記の点検を必ず行ってください。

- ①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。
- ②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。
- ③アース線が正しく接続されていますか。

⚠ 注意：通電について

●夜間など長時間で使用にならないときは必ず電源を切ってください。

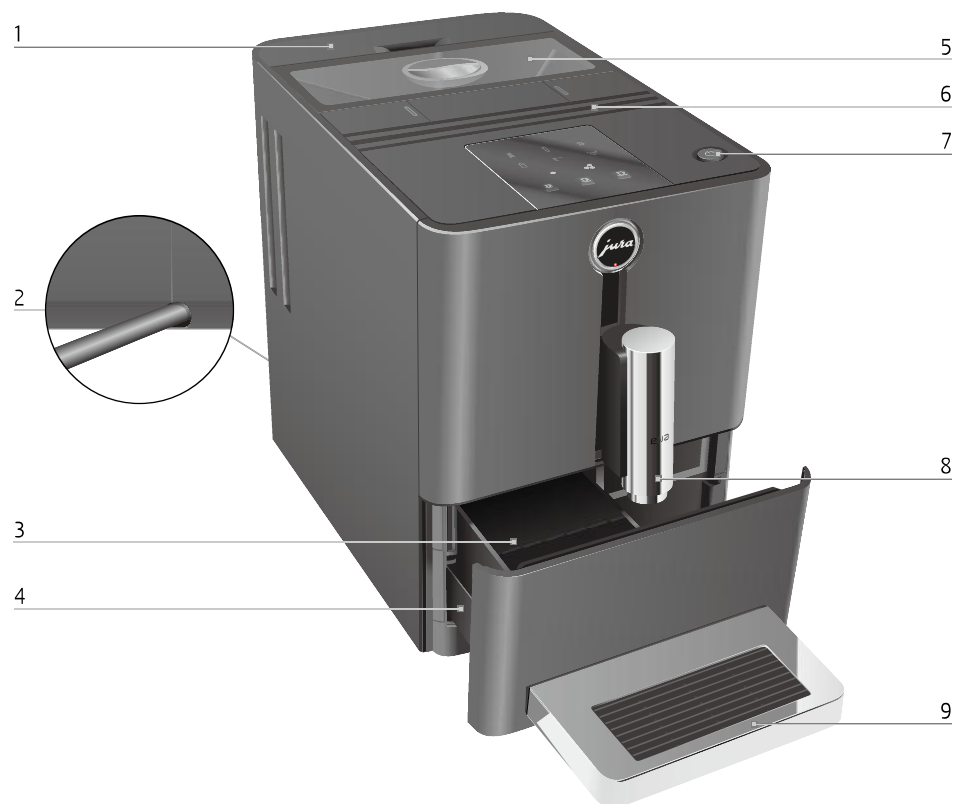
⚠ 注意：設置環境について

●周辺温度が30℃以上になる場所での使用はおやめ下さい。

Contrasto
株式会社コントラスト

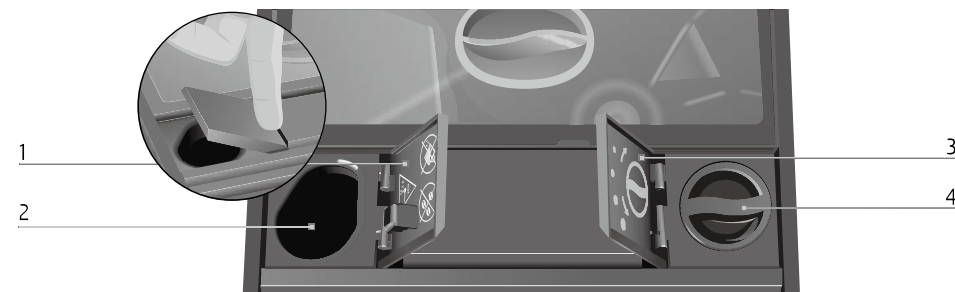
東京都品川区戸越 5-14-17-201(〒142-0041)
TEL03-3783-8899 FAX03-3783-6589
e-mail: info@contrastostore.jp

各部名称



- | | |
|------------|----------------|
| 1: 水タンク | 5: アロマカバー付豆ケース |
| 2: 電源ケーブル | 6: 換気口 |
| 3: カス容器 | 7: ON/OFF ボタン |
| 4: ドリップトレイ | 8: 高さ調整式抽出口 |
| | 9: カップグリル |

【マシン上部】



- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1: コーヒー粉投入口カバー | 3: グラインダー調整ノブカバー |
| 2: コーヒー粉投入口 (洗浄タブレット投入口) | 4: グラインダー調整ノブ |

【操作パネル部マーク】



▶マシンのセットアップ（はじめてご使用になる際）/ フィルターを使用する

前提条件

- ※電源コンセントが近くにある場所に設置して下さい。
延長タップ等は使用できません。
- ※電源ケーブルに損傷または欠陥がある場合、致命的な危険のある感電の可能性があります。電源ケーブルに損傷または欠陥がある場合は絶対に使用しないで下さい。
- ※耐水性があり水平・平滑・頑丈な場所に設置して下さい。
- ※水や蒸気がかかる場所、高温になる場所を避け通気を確保して下さい。（変形や故障・オーバーヒートの恐れがあります）
- ※布や食器で換気口を覆わないで下さい。

①豆ケースに豆を入れる

アロマカバーを取り外します。
豆容器内部の汚れや異物を確認しあれば取り除きます。
コーヒー豆で豆容器を満たしアロマカバーを閉じます。

ご注意

添加剤（例えば糖やフレーバー）で処理したコーヒー豆、挽き豆または凍結乾燥コーヒーは、グラインダーを損傷します。
豆容器には無添加の正しくローストされたコーヒー豆だけを使用します。
豆ケースに誤って水を入れないよう十分ご注意ください。内部のグラインダーを損傷させる恐れがあります。異物や水はねの混入を防ぐため豆の充填時以外は必ずフタをして下さい。

②電源を入れる

マシン電源ケーブルを 100V のコンセントに確実にさしこみ、ON/OFF ボタンを押します。

全てのマークが 2 回点滅した後カルシウム除去マーク  及びフィルターマーク  が点灯します。

③フィルターの設定をする

本機専用浄水器「クラリスブルーフィルター」を使用するかどうかを選択します。

【クラリスブルーフィルター】：ユーラのコーヒーマシン専用に開発された浄水カートリッジ。抽出の度に必要量を都度浄軟水化しコーヒーの味を素直にひきだすベストバランスの水を供給します。

※フィルターの使用 / 不使用の設定は後から変更する事ができます（→p6）

【使用→→手順④へ】

- 時間のかかるカルシウム除去作業が不要になります。
- 50ℓまたは 2 ヶ月毎に交換が必要です。
- 水の硬度が 10° dH 以上の場合にご使用をお勧めします。（確認方法→p6 水の硬度を調べる）

【不使用→→p6 へ】

- ランニングコストを抑えます
- 定期的にカルシウム除去作業をしていただく必要があります。
- 作業の頻度はお使いの水の硬度によって異なります。（確認方法→p6 水の硬度を調べる）

フィルターの使用を選択する

④



フィルターのマークをタッチします。

⑤

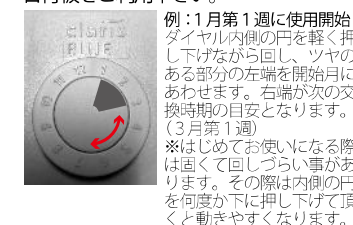


水タンクのマークが点灯します。水タンクを本体から外してフタを開けます。



フィルターホルダーを開き、クラリスブルーフィルターを挿入してフィルターホルダーを閉じます。（カチッと音がするまで）

※クラリスブルーフィルターは約 50ℓ 毎、あるいはご使用水量が 50ℓ に達しない場合でも最長 2 ヶ月で交換が必要です。交換時期を確認する為に上部の日付板をご利用下さい。



⑦

新鮮な水道水を水タンクに満たし、本体に戻します。
※発泡水やミネラルウォーター、お湯などではご使用になれません。

⑧



フィルターマークが点灯するのでタッチします。

⑨



フィルターすすぎ中。排水がドリフトレイに流入します。数分後に停止します。

⑩



マシン加熱中。数分かかります。

⑪



点滅が終了し、コーヒー濃度と抽出ボタンが点灯、マシンのご利用が開始できるようになりました。

コーヒーの抽出
→p7 へ
「基本操作・コーヒーの抽出」

使用期限の来たフィルターの交換方法→p9 へ
クラリスブルー交換用フィルターは販売代理店にてお求め頂けます。



▶マシンのセットアップ/ フィルターを使用しない/ フィルターの設定を後から変更する



前提条件

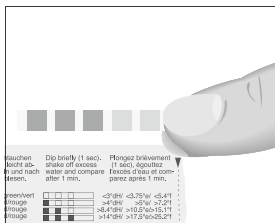
※フィルターを使用しない設定の場合は定期的に専用除去剤を使ったカルシウム除去という作業が必要になります。
※事前にお使いの水道水の硬度を測っておきます。
※その後、前掲p5の前提条件を参照のうえ、p5手順①②までを済ませます。

水の硬度を調べる

水の硬度は Welcome Pack 内に標準付属の AquadurR 試験紙を使用して確認できます。

AquadurR を水道からの流水に約 1 秒さらした後、水を振り払い、約 1 分間待ちます。

AquadurR 試験紙のグリーンの印刷色が硬度によってページに変色して行きます。下の表に照らし合わせて、お使いの水道水の硬度をご確認ください。



【結果】	【硬度目安】	【ENA での設定】
(変色なし)	0° dH レベル 1	
(1 マス変色)	5° dH レベル 1	
(2 マス変色)	10° dH レベル 1	
(3 マス変色)	15° dH レベル 2	
(4 マス変色)	20° dH レベル 2	
(5 マス変色)	25° dH レベル 3	

前掲 p5 を参照し手順①②までを済ませます。

①豆ケースに豆を入れる

②電源を入れる 全てのマークが 2 回点滅した後カルシウム除去マーク 及びフィルターマーク が点灯します。

フィルターを使用しない設定にする

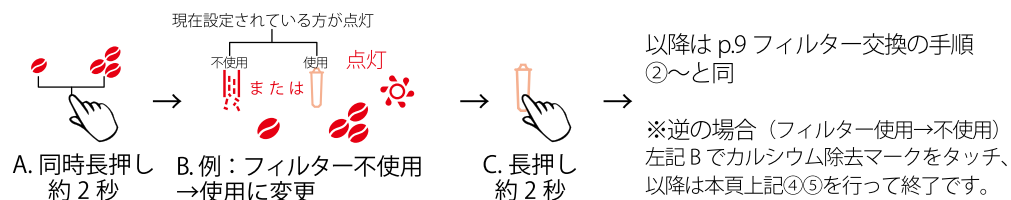
- ③ タッチ
カルシウム除去のマークをタッチします。
- ④ 上記のマークが点灯します。先に調べた水の硬度をここで設定します。例：レベル 1 であれば一番小さなカップのボタンを押します。
- ⑤ タッチ
再度カルシウム除去のマークをタッチします。
- ⑥ 点灯
水タンクのマークが点灯します。コーヒー出口の下に排水受を置き、水タンクを外します。
- ⑦ 新鮮な水道水を水タンクに満たし、本体に戻します。※発泡水やミネラルウォーターお湯などはご使用になれません。
- ⑧ 点滅
マシン内部に水が充填され排水がドリフトレイに流れます。動作音がして一時停止します。
- ⑨ 点滅
マシン加熱中。数分かかります。
- ⑩ 点滅
点滅が終了し、コーヒー濃度と抽出ボタンが点灯、マシンのご利用が開始できるようになりました。

カルシウム除去方法→p11へ



専用カルシウム除去剤は販売代理店にてお求め頂きます。

フィルター使用 / 不使用の設定を後から変更する



▶ 基本操作・コーヒーの抽出

◆ 電源 ON/OFF

電源を入れると全てのマークが2回点滅しその後抽出ボタン（カップのマーク）の点滅が続き（＝加温中）リンスがはじまります。点滅が終了し抽出ボタン（カップのマーク）とコーヒー濃度ボタン（豆のマーク）が点灯したらスタンバイ状態です。

電源 ON/OFF 時には自動リンスが行われコーヒー抽出口からお湯が排出されますので排水受を用意します。（一度も抽出がなかった場合は電源オフ時のリンスはありません）

※省エネモード（標準装備）

最後の抽出から 30 分が経過すると自動的に電源がオフになります。（変更できません）

前提条件



コーヒー濃度と抽出ボタンが全て点灯している。
水、コーヒー豆がマシンにセットされている。
使用するカップを用意し、その高さにあわせて抽出口の高さを調整しておきます。

※コーヒーは最良の味のため適温で抽出されます。冷たい陶磁器のカップはコーヒーの温度を極端に低下させますのでご使用のカップは肉厚のものを湯などで温めてからご使用下さい。

◆ コーヒーの抽出

①お好みのコーヒー濃度（挽豆量）を選び、タッチします。※



②お好みの抽出量を選び、タッチします。



③選択した組み合わせのマークが点滅し、カップに初期設定量のコーヒーが注がれ自動的にとまります。
（例：ストロング / エスプレッソ）→



①※選択後もグラインダー動作中であれば濃度変更が可能です。豆を挽く音がしている間に再度ノーマル / ストロングボタンを押しておして下さい。（選ばれなかった方のマークがやや暗くなります）

①※濃度を選ばずにカップのマーク（抽出量）をタッチすると前回抽出時のコーヒー濃度で抽出されます。

①※途中で豆が不足しても抽出を続けてしまいます。抽出前にケース内の豆残量を確認しておきましょう。

②※初期設定量を抽出します。（以下はおおよその目安です。お使いの豆によって誤差があります）

リストレット 約 20 ～ 25ml

エスプレッソ 約 35 ～ 40ml

コーヒー 約 125 ～ 130ml

②※お使いのカップサイズにあわせて抽出量の変更をすることができます。（→p8へ）

③※抽出中に再度ボタンを押すと抽出を途中でとめることができます。

◆ よく出るマークの意味と操作

ご使用中に以下のマークが点灯した際に行う作業です。



水タンクに水が不足、または正しくセットされていません。
→水タンクに水を満たし再度セットします。



豆ケースが空です。→豆を補充します。



カス容器が満杯です。
→抽出口を上へ上げ、カス容器とドリフトトレイを手前に引き出し、中の排水とカスを空にして再度セットします。
※トレイを戻すのが早すぎると表示が消えない事がありますので 10 秒ほどおいてからセットします。
※満水の際はこぼれやすいのでご注意ください。



ドリフトトレイが正しくセットされていません。
→ドリフトトレイをいれなおします。



豆ケースカバーが正しくセットされていません。
→豆ケースカバーをセットしなおします。

※その他のマークについてはp12 こんなときは、をご参照下さい

◆ ご使用後のお手入れ

毎日必須

1 日の終わりに電源を切る際はドリフトトレイとカス容器を空にし、中性洗剤できれいに洗いましょう。
（※食洗器使用不可 変形や不具合の元になります。）

ご使用後に残った水タンクの水は捨て、きれいな水ですすぎます。水は毎日必ずとりかえましょう。

※マシンの表面は清潔な柔らかい布（マイクロファイバー等）で水拭きします。

※豆ケースを清掃したい場合は必ず電源を切りプラグを抜いた状態でいきます。豆ケースカバーを外し内部に残ったコーヒー豆を掃除機で吸い取ります。柔らかい乾いた清潔な布で豆ケース内をから拭きして下さい。（水気厳禁）

◆パウダーコーヒーの抽出

本機はパウダーコーヒー（挽豆）での抽出も可能です。例えばカフェインレスのコーヒーやいつもと違う味の豆をお飲みになりたいとき、粉状のコーヒーをご用意いただければ抽出ができます。

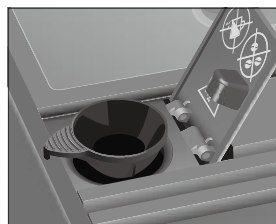
前提条件

コーヒー濃度と抽出ボタンが全て点灯している。水がマシンにセットされている。使用するカップをセットし、その高さにあわせて抽出口の高さを調整しておきます。

ご注意

※セミオートエスプレッソマシン用などの中細挽きの粉をご利用下さい。挽き目の細かすぎる粉を使用すると目詰まりをおこしコーヒーがドリフトトレイに流れでてしまいます。
※パウダーコーヒーの抽出は都度粉を投入します。粉をためておく事はできません。
※インスタントコーヒーはご使用になれません。

①Welcome Pack 内の充填ポートと計量スプーンを用意します。コーヒー粉投入口のフタをあげます。パウダーコーヒーマークが点灯します。



②充填ポートをセットし、計量スプーン1杯分のパウダーコーヒーを投入します。
※1杯が上限です。それ以上の粉は入れないでください。

③コーヒー粉投入口のフタを閉じます。

④コーヒー抽出量のボタンが点灯したら好きなサイズを選びます。選択したサイズのマークが点滅し、設定量のコーヒーが注がれ自動的にとまります。

※パウダーコーヒー充填後1分以内に抽出ボタンを押して下さい。それを過ぎるとリセットされ充填した粉が廃棄されてしまいます。※充填量が不十分な場合もマークが点灯に変わらず、粉がリセットされてしまいます。



◆抽出量の設定変更

普段お使いになっているカップのサイズにあわせて抽出量を変更することができます。

前提条件

コーヒー濃度と抽出ボタンが全て点灯している。水と豆がマシンにセットされている。量を設定したいカップをセットし、その高さにあわせて抽出口の高さを調整しておきます。

例：エスプレッソの抽出量を設定

リストレット エスプレッソ コーヒー



①約3秒間、エスプレッソマークをタッチします。いったん消えたリストレットとコーヒーのマークが再度点灯したらエスプレッソマークから指を離します。

②エスプレッソの抽出が始まります。

③カップに対して程よい量のところまできたら再度エスプレッソマークをタッチして抽出をとめます。

④さきほどとめた量で抽出量が設定されました。マークが点滅し設定を記憶させています。点滅が終了したら再び使用可能な状態に戻ります。

※他のカップサイズもやり方は同様です。※一度設定したのも、この手順で何度でも設定しなおせます。

抽出量変更モードに入るとどのボタンも現在の設定にかかわらず最大量まで出せるようにプログラムされていますので、抽出量を増やしたい場合も問題なく設定変更が可能です。



◆挽目（グラインダー）の調整

お使いの豆にあわせて挽目を調整することができます。グラインダー調整ノブは右に回すと挽目が細かく、左に回すと粗く調整されます。コーヒー豆の種類や焙煎度によって最適な挽目は異なります。コーヒーが抽出口より途切れなく出る状態が焙煎と挽目があるひとつの目安となります。

ご注意

※調整は必ずグラインダーが回転している間に行います。回転していない状態で調整を行うと部品が破損する恐れがあります。
※一度設定した挽目は次に調整をするまで固定です。コーヒー濃度毎やカップサイズ毎に挽目を変えるという設定はできませんので、一番よくお飲みになるメニューで調整することをお勧めします。

例：ストロングエスプレッソで挽目を調整

①マシンに水と豆がセットされている事を確認し、抽出口の下に味見用のカップをセットします。

②グラインダー調整スイッチのカバーを開けます。

③ストロングコーヒーのマーク、続いてエスプレッソのマークをタッチします。

④グラインダーの回転音がしている間に調整ノブを回します。設定量のコーヒーが抽出されます。これまでの挽きが残っている可能性があるため1杯目は捨て、2杯目から試飲し、味、クレマの量、色目などを確認します。ご希望の味になるまでこの作業を繰り返します。



▶ フィルターの交換

前提条件

フィルターはろ過した水量あるいは期間によって浄水能力が限界に達し、交換が必要になります。以下のA・Bいずれかの状態になったらフィルターを交換します。

A. フィルターマークが点灯



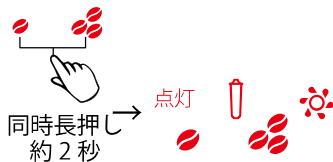
マシンが 50 l の水のろ過を検知するとフィルターマークが点灯します。→手順①へ

B. フィルター取付（交換）から 2 ヶ月経過

ろ過水量にかかわらず、開封から 2 ヶ月がたつとフィルターは浄水能力を失います。この場合マシンに**フィルター交換のサインはでません**が取付時に設定した日付板を確認し、必ずフィルターを交換してください。



例：1 月第一週に取付
→ 3 月第一週に交換



→手順①へ

フィルターの交換

①



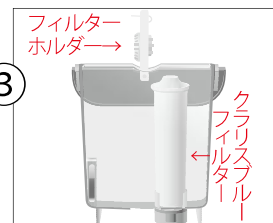
長押し 約 2 秒

②



水タンクのマークが点灯します。水タンクを本体から外してフタを開けます。

③



フィルターホルダーを開き、古いフィルターを取り外し新しいフィルターを挿入します。（力を入れすぎないようにご注意ください）

④



フィルターホルダーの日付板を設定しなおし、フィルターにかぶせるように閉じます。（カチッと音がします。）

⑤

新鮮な水道水を水タンクに満たし、本体に戻します。
※発泡水やミネラルウォーター、お湯などとはご使用になれません。

⑥



カス容器とドリフトレイにたまった排水をこぼさないよう注意して取り出し、それぞれを空にしてマシンに戻します。

⑦



フィルターマークが点灯するのでタッチします。

⑧



フィルターすすぎ中。排水がドリフトレイに流入します。数分後に停止します。

⑨



カス容器とドリフトレイにたまった排水をこぼさないよう注意して取り出し、それぞれを空にしてマシンに戻します。

⑩



マシン加熱中。数分かかります。

⑪



点滅が終了し、コーヒー濃度と抽出ボタンが点灯。交換作業が終了し、再びマシンがご利用できます。

▶カルシウム除去

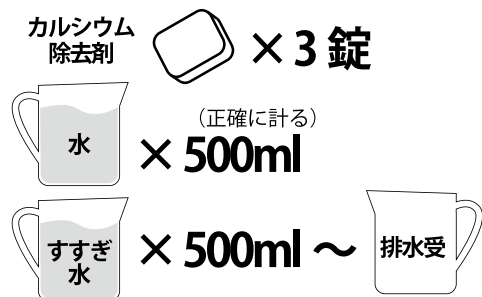
表示が出たら



約 40 分 (※浄水フィルターをご使用の場合、この作業は必要ありません)

jura

必要なもの



ご使用するに従って飲料水に含まれるミネラル成分がマシン内部に徐々に蓄積されて固着してゆきます。最初に設定した水の硬度 (p.06) によりマシンは自動的にカルシウム除去を促します。(※浄水フィルターを使用する設定の場合は表示されません)

※カルシウム除去はおよそ 40 分かかります。

※カルシウム除去は中断しないでください。中断するとマシンの故障や損傷の恐れがあります。

※専用洗剤はマシン販売店からご購入できます。

ご注意

販売店指定のカルシウム除去剤 (安全データシートあり) をご使用ください。指定以外のカルシウム除去剤を使用した場合、マシンが破損する恐れや、残留物が飲料に混入する恐れがありますのでご使用にならないで下さい。カルシウム除去剤の投入後は必ず最後まで実行して下さい。洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネをご着用下さい。カルシウム除去剤は酸性です。アルミや大理石、金属に付着した場合、損傷を与える恐れがありますので付着してしまった場合は直ちにきれいに拭き取ってください。

警告

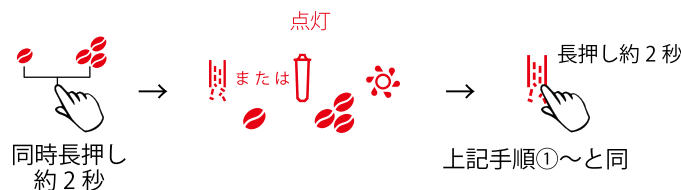
カルシウム除去剤は、皮膚や目に接触した場合、炎症を引き起こす可能性があります。皮膚や眼との接触を避け、万一目や皮膚に付着した場合はすばやくきれいな水で除去剤を洗い流してください。目に入った場合は、医師の診断を受けてください。

手順

- ① カルシウム除去のマークが点灯している
長押し 約 2 秒
- ② カス容器とドリップトレイを空にしてマシンに戻します。
- ③ 水タンクを取り外し、残っていた水をいったん空にします。
- ④ 正確に計った 500ml の水にカルシウム除去剤 3 錠を溶かします。空の水タンクにこの溶液を注ぎ、マシンにセットします。
- ⑤ タッチ
- ⑥ カルシウム除去作業中。(約 35 分) 排水はドリップトレイへ流れます。
- ⑦ カス容器とドリップトレイにたまった排水を空にしてマシンに戻します。
- ⑧ 水タンクを取り外し良くすすいでから水道水で満たし、マシンに戻します。
- ⑨ タッチ
- ⑩ すすぎ作業中。排水はドリップトレイへ流れます。
- ⑪ すすぎ作業中。排水がコーヒー抽出口から出ます。
- ⑫ カス容器とドリップトレイにたまった排水を空にし、マシンに戻して終了です。

任意ではじめる場合

抽出可能な状態にあれば、いつでもカルシウム除去を始めることができます。



※停電などでカルシウム除去プログラムが予期せず停止した場合はすぐにきれいな水で水タンクをよくすすぎ、除去剤の成分を洗い流します。再開可能になったら再度実行してください。

表示されているマーク	原因及び結果	解決方法
	水タンクに水が不足、または正しくセットされていません。抽出不可。	水タンクに水を満たし、再度セットします。
	カス容器が満杯です。抽出不可。	中にたまった排水をこぼさないよう注意しながらドリップトレイをゆっくり引きだし、カス容器内のカスとトレイの排水を空にして再度セットします。 ※トレイとカス容器を戻すのが早すぎると表示が消えない事がありますので 10 秒程おいてから再セットして下さい。
 点滅	ドリップトレイが正しくセットされていません。抽出不可。	ドリップトレイを正しくセットします。
 点滅	豆ケースが空です。	豆を補充します。
 点滅	豆ケースのカバーが正しくセットされていません。抽出不可。	豆ケースカバーを正しくセットします。
 または	設定モードに入っています。	☉ または ☉ マークをタッチして設定モードを終了します。
 (抽出は可能)	マシン洗浄（クリーニング）が必要です。	マシン洗浄（クリーニング）を実行して下さい。(→p10)
 (抽出は可能)	カルシウム除去が必要です。	カルシウム除去を実行して下さい。(→p11)
 (抽出は可能)	フィルター交換時期です。	フィルターを交換して下さい。(→p8)
 点滅	コーヒー粉の量が足りていません。抽出を中止します。	もう一度適正な量でお試し下さい。

▶トラブルシューティング

トラブル	原因及び結果	解決方法
コーヒーが抽出されず ドリップトレイに流れ出てしまう。	コーヒー豆の挽きが細か過ぎて内部のフィルターが 目詰まりを起こしています。	挽目を粗くして下さい。(→p8 挽目の調整) コーヒー粉を 使用されている場合はより粗い挽目のものをご購入ください。
コーヒーの出が悪い。	コーヒー豆の挽きが細か過ぎる可能性があります。 マシンへの水の流れが滞っている可能性があります。	挽目を粗くして下さい。(→p8 挽目の調整) 水タンク下、特に本体との接続部に異物があれば取り除きます。
カス捨て表示  の出るタイミングが おかしい。カスを捨てても表示が消えない。	電源をオフにしてからカスを捨てている。 カス捨て後、トレイとカス容器を戻すのが早い。	カス捨てはマシンの電源が入っている時に行ってください。 トレイと容器を外してから戻すまで 10 秒ほど時間をあけます。
水タンクは満水なのに  が点灯し 動作しない。	水タンク内部のフロート（浮き）が汚れて 引っかかっています。	水タンクの汚れを取り除いてください。定期的には中性洗剤で 洗浄されることをお勧めします。
 と  マークが交互に点滅。	システム内部に水がありません。 システム内部に水を充填する必要があります。	水タンクを満水にして  または  マークをタッチします。 システムに水が充填されます。
グラインダーの動作音が大きくなる または異音がする。	グラインダー内に異物が混入しています。	販売店もしくは代理店に連絡してください。
電源投入後  が 5 秒間点滅。 その後電源がオフされる。	長時間冷気にさらされて機械内部が過低温となっ ています。安全上の理由で加熱が出来ません。	室内を暖め、マシンが室温に達するのを待ちます。
問題が解決しない場合は販売店や代理店にご連絡下さい。		

エラー表示

下記のマークが 5 秒間点滅し電源が自動的に切れる→販売代理店にご連絡下さい（どのマークが点滅したかをお伝え下さい）

	エラー 1（コーヒー温度センサー）		エラー 9（ロジックリレー不良）
	エラー 2（コーヒー温度センサー）		エラー 10（ロジックリレー不良）
	エラー 5（加熱不良）	     	コントローラertimeアウト
	エラー 8（ユニット位置不良）		